

事業所名

放課後等デイサービス さまあ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

4 月

15 日

法人（事業所）理念		「徳育」・「体育」・「知育」の調和、自主自発性・創造性を育む											
支援方針		理学療法士の専門性を活かして、小集団での運動を中心に療育プログラムを展開し、一人ひとりの身体機能・運動能力を考慮したアプローチを行います。 他にも、社会生活面やビジョン・感覚統合などのトレーニング、自然体験活動や公共の施設での活動も遂行します。 自信がつくことで、さまざまな場面での成功体験を積み重ね、将来の人生が豊かになるよう支援します。											
営業時間		9時		0分		17時		0分		送迎実施の有無		ありなし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・健康状態のチェック（問診） ・連絡帳の確認・体調不良時・保護者との連絡ツール確保と対応共有・静養室での待機・看護師対応 ・投薬依頼時の対応・服薬管理 ・検温・手洗い・消毒 ・水分補給促し・トイレ誘導（アラーム設定） ・給食の提供 - （準備と片付け） ・運動・社会生活・ビジョン・知育・認知作業トレ ・休憩時間・クールダウン時間設定 ・おやつを選択・提供・後始末・号令 ・整理整頓											
	運動・感覚	・運動トレーニング（筋力・体幹・ルール・体操） ・固有受容感覚・前庭感覚・触覚・視覚・聴覚に対するトレーニング ・感覚鈍麻・過敏の把握・考慮した中での活動実施											
	認知・行動	・さまざまな認知作業トレーニングを準備し、個々のレベルに合った選択と実践 ・声掛けの工夫・個別化・職員間の統一した見解と提示 ・タイムスケジュール見える化・施設内配置の環境調整・視覚的理解の支援											
	言語 コミュニケーション	・「待つ」を職員間の共通認識として意識付け、本人の自己表現機会を確保 ・始まりの会・帰りの会を「こども会議」と位置づけし、児童主体でのコミュニケーション機会作り・「テーマ」に沿ったディベートを促す ・グループワークや活動内での協力プレイを通して、仲間への言語化場面をつくる・サポートする											
	人間関係 社会性	・「静と動」の意識・リラクスタイム・クールダウン・一時避難所を設定し、気持ちの受容・メンタルコントロール（後の切り替え）の場を提供 ・社会生活トレーニング・グループワークを通して社会性・対人関係の構築 ・公共施設利用や地域交流機会をつくり、成功体験を通して自信をつける ・家族希望も含め、個々に応じた学習支援											
家族支援		・学校訪問・見学を通して定期的な情報共有・相談援助 ・家族会を通して、保護者間の交流をはかる ・放デイ参観日の設定 ・療育システムでの通知設定や記録等公開での見える化						移行支援		・進級・進学に際して、関係機関へ情報提供・担任との共有を通して連携強化をはかり、関係構築につなげる			
地域支援・地域連携		・隣接する学童クラブとの交流 ・地域の他事業所児童とのコラボ活動 ・こども食堂・地域イベントや公共施設の利用						職員の質の向上		・定期的な相談機会の確保（年3回） ・スキル・キャリアアップ援助（資格取得サポート） ・勉強会・オンライン研修（随時）			
主な行事等		・季節イベントに沿った製作活動・レクリエーション ・戸外活動（公園・工場見学・自然体験・外食・買い物体験・図書館） ・火災・地震想定避難訓練（緊急連絡網・避難所設定）											